

日立除湿機

RD-1602LD形

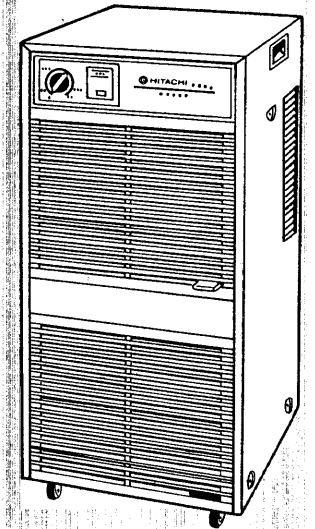
このたびは日立除湿機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくお使いください。

お読みにになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

目次

- 安全にお使いいただくためのご注意…………… 1
- 各部の名称と働き…………… 2
- 運転の前に…………… 3
- 初めてお使いになるときは…………… 4
- 連続排水のときは…………… 4
- 運転のしかた…………… 5
- 移動させるときは…………… 6
- 節電するための上手な使い方…………… 6
- お手入れのしかた…………… 6
- 定期的に点検しましょう…………… 7
- 長時間お使いにならないときは…………… 7
- アフターサービスと保証について…………… 8
- 仕様…………… 10
- 別売品について…………… 10



お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。



形名	RD-1602LD
購入年月日	年 月 日
購入店名	
	TEL.

日立家電販賣株式會社

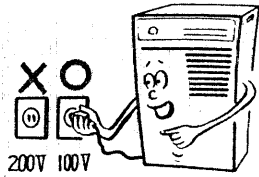
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号
電話 (03) 502-2111

株式会社 日立製作所

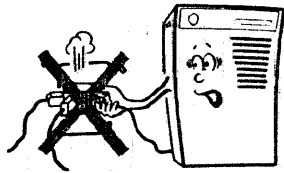
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号
電話 (03) 502-2111

安全にお使いいただくためのご注意

- この除湿機は100V(ボルト)用です。



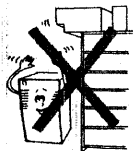
- 分岐ソケットは発熱などの原因になり危険ですから、専用のコンセントを使用してください。



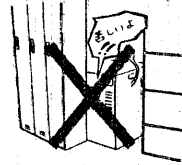
- 押し入れなど極端に狭い場所で使用しないでください。室温が40℃以上に上昇することがあり、除湿機の運転に無理がかかります。



- 除湿機を倒さないでください。倒れた衝撃で故障したり、水受容器の水が電気品にかかり、絶縁が悪くなります。また、除湿機を倒れ易いものそばに置くことはさけてください。地震のときなど危険です。



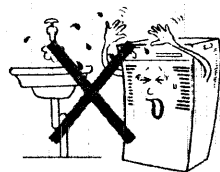
- 空気吸込口と、吐出口をふさがないでください。除湿機に無理な運転となり故障のもとになります。



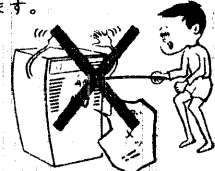
- ご旅行等で留守をされる場合や、長期間ご使用にならない場合はスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。



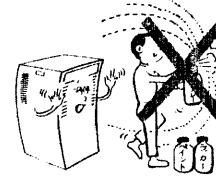
- 除湿機を直接水がかかる場所に置かないでください。水がかかると絶縁が悪くなり危険です。



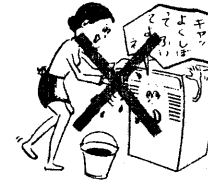
- 空気の吐出口や吸込口その他すきまから細い棒などを絶対に入れないでください。除湿機内には回転物がありますし、感電する恐れもあります。



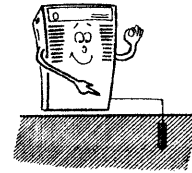
- 可燃性スプレーは引火の危険がありますから運転中の除湿機の近くで使用しないでください。



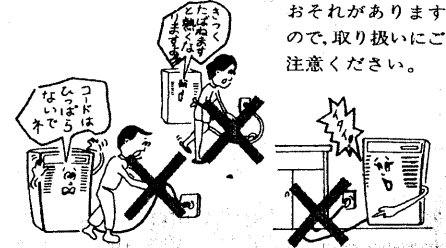
- お手入れのとき電気部品(スイッチ・表示灯など)に水がかかりますと絶縁が悪くなり危険ですから電気部品の周囲をふくときは、布をかたく絞ってください。



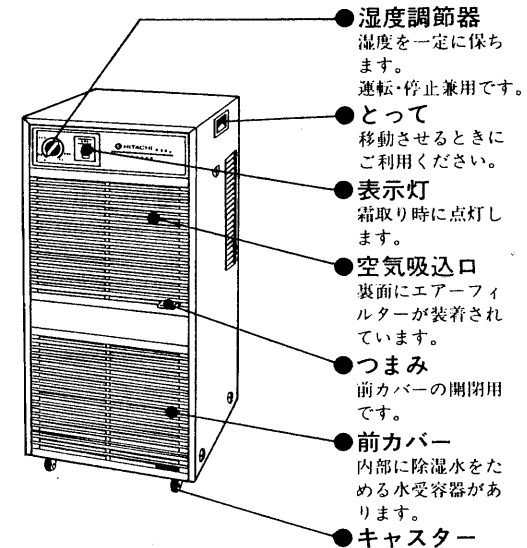
- 水蒸気が充満したり、水が多い所で使用になる場合は、万一漏電した場合の感電防止のため、電源コード引出口の近くにあるアース接続ねじに必ずアース線を接続してください。(詳しくは4ページの「アースについて」の項をごらんください)



- 電源プラグの抜き差しによる運転操作は絶対に行わないでください。電源プラグを抜くときは、必ず運転を停止し、プラグ部分を持って抜いてください。電源コードがいたみますと焼損や漏電のおそれがありますので、取り扱いにご注意ください。



各部の名称と働き



運転の前に

1 1℃～40℃のお部屋でお使いください

●室温の下限は自動霜取り装置により、除霜するので、1℃です。氷点下になると、冷却器についた霜を完全に除霜できなくなり、また除霜した水が凍り、排水できなくなりますので、1℃以上のお部屋でお使いください。

室温の上限は40℃です。40℃以上の高温になると除湿機の運転に無理がかかり、故障のもとになります。

また湿度は、ある湿度以下になると露が滴下しなくなりますが、この限界は例えば室温30℃では相対湿度約35%です。したがって1℃～40℃のお部屋でご使用になると同時に、お部屋の湿度にもご注意ください。

●除湿機はエアコンと違い、運転していくうちに、お部屋の温度が少し上昇します。これはモーターや再熱器から出る熱のためです。

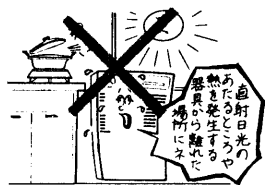
2 設置する場所は

●床が弱いと振動や騒音の原因になりますから丈夫な所を選んでください。

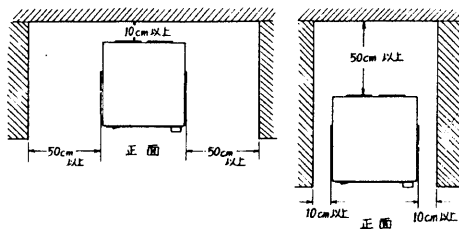
●床が傾斜していると水受容器から除湿水があふれることがありますから、水平なところに設置してください。



●効率よく除湿するよう、熱気の少ない、部屋全体の空気の循環のよい場所を選んでください。



また、背面の吐出口の前方を10cm以上、両側面の吐出口の前方を50cm以上あけるか、背面を50cm以上、両側面を10cm以上あけてください。



3 お部屋の窓、扉などを閉めてください

●運転する際はお部屋の窓、扉などを閉め、外気が流れ込まないようにしてからご使用いただくと効果的です。なお、外気が多量に室内に流れ込みますとお部屋の湿度が下りませんのでご注意ください。

4 貴重な美術品や学術資料、その他重要な機器の保管等にご使用になる場合

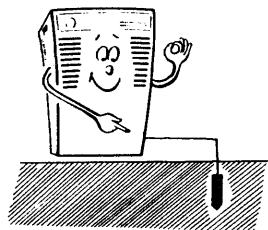
●ご希望の湿度にお部屋が維持できるかどうかよくお確かめください。なお、お部屋の広さや構造、除湿機の設置台数にもよりますが低湿度になると除湿量が少なくなりますので、とくに湿度を40～50%以下に維持することを必要とされる場合には通しません。

●万一の事故に備え、ご希望の湿度に対し異常に高くなったりしてもまた排水ホース(4ページの「連続排水のときは」の項を参照してください。)がはずれたり、水受容器から水があふれても、保管物に被害がおよばないよう処置をした上でご使用ください。

5 アースについて

●万一漏電した場合の感電防止のため、次のようなところでご使用になる場合はお買い求めの販売店に依頼して必ずアース工事をしてください。(アース工事は有償です。)

- (1) 水を扱う土間や洗い場の床など水気のあるところ。
- (2) 上記土間、洗い場付近の水のかかるところ。
- (3) 浴室、かま場など水蒸気の充満するところ。
- (4) 地下室などで水がしみ出たり、結露するようなところ。

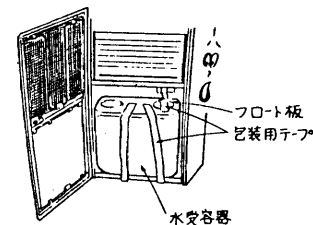


なお、上記の場所でご使用になる場合には、さらに漏電しゃ断器の設置が義務づけられる場合があります。詳しくはお買い求めになった販売店にご相談ください。

初めてお使いになるときは

包装用テープをはずしてください。

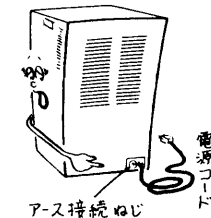
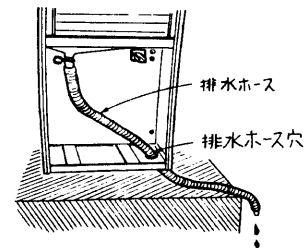
●キャビネットおよび水受容器に包装用テープを使っていますので、はずしてください。とくに水受容器のフロート板の包装用テープを取り忘れると除湿水が水受容器に一定量以上たまったも運転を停止せず外部へ水があふれますので、必ず取りはずしてください。(フロート板の下にある発泡スチロール製のフロートは、はずさないでください。)



連続排水のときは

●そばに水を流せるような場所がある場合は、水受容器を取りはずして、露受けの排水孔に市販の内径16φの排水ホース、あるいは別売りのサービス専用部品の排水ホース(10ページの「別売品について」の項を参照してください。)を接続し、ベースの手前右側にある排水ホース穴より機外に導いてください。

●排水ホースは、はずれないよう露受けの排水孔との接続部を針金バンドで確実に固定し、またつぶれないように取りつけてください。

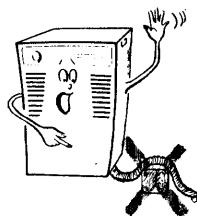


●アース線は、除湿機の背面の右下にあるアース接続ねじに接続してください。

●次のようなところにアース線を接続しないでください。

- (1) 水道管
- (2) ガス管
爆発や引火の危険があります。
- (3) 電話線のアースや避雷針
落雷のときに大きな電流が流れ危険です。

- 排水ホースの先端を水中に入れたり、ホースの途中に高低差をつけたりしないでください。また、排水ホースの設置場所が氷点下にならないようにしてください。排水できなくて、水があふれる恐れがあります。



運転のしかた

1 湿度調節器のダイヤルを“適湿”に合わせます

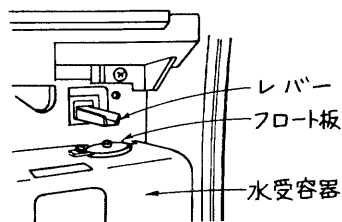
- 湿度調節器は運転スイッチ兼用です。湿度調節器のダイヤルを“適湿”に合わせると運転を開始します。
- ダイヤルは“適湿”の高湿(湿度約60%)側に合わせると電気代が経済的になります。低湿(湿度約50%)側に合わせると機械の運転率が上昇し電気代がかかります。
- 洗たく物などの補助乾燥に使用するとき、ダイヤルを“低湿”に合わせてください。連続運転になり効果的です。

- ダイヤルを“適湿”にしても運転しないときはお部屋の湿度がダイヤルの設定値よりも低いときです。このときはダイヤルをいったん“低湿”にし正常に運転することを確かめてから再び“適湿”にしてください。
- ひん繁なスイッチの操作はさけてください。スイッチをいったん切ったら、つぎにスイッチを入れるまで3分以上間をおいてください。すぐ入れますと圧縮機の運転がうまくおこなれないことがあります。
- お部屋の温度が約18℃以下になると、およそ1時間半～3時間に1回“霜取ランプ”がついてモーターが止ります。これは冷却器に付いた霜を取るため、1回の霜取り時間は5分～30分です。

2 水受容器の水を捨てます

除湿された水は露受けの排水孔に排水ホースを接続して連続排水させる場合を除き水受容器にたまりまます。この場合水受容器から水があふれないよう一定量以上になると運転を自動停止しますが1日に一回は正面のダイヤルを“切”にし、運転を停止し、前カバーを開き、引き出して水をすててください。

- 水受容器の除湿水により運転が自動停止したときはいったん、正面のダイヤルを“切”にしたうえで、水受容器を引き出してください。ダイヤルを“切”にしないで水受容器を引き出しますと、運転を自動的に再開し、除湿水が床にたれます。
- 水受容器の水をすてた後、再び水受容器を除湿機本体に納めるとき、水受容器のフロート板がレバーの下になるようにしてください。フロート板がレバーの上に乗った状態で入れますと、水受容器に除湿水がたまっても自動停止しません。



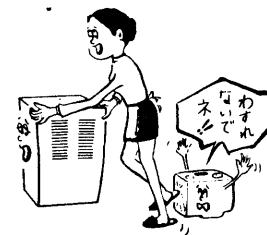
- 水受容器は排水ホースによる連続排水の場合や、水をすてるためにはずす以外は常に確実に本体内に納めてください。正しく除湿機内にないと床をぬらすことがあります。

移動させるときは

- 移動の際は“とって”に手を掛け、押してください。

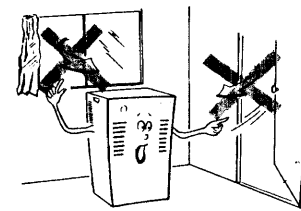
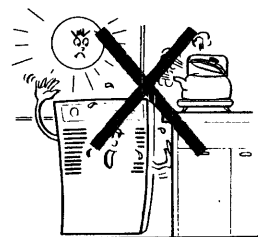
- 移動の際はダイヤルを“切”にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。なお、わずかな移動の際も、必ずダイヤルを“切”にし、運転を停止してから行ってください。運転がおこなわれている状態で移動させますと、水受容器内のフロート板が水面の揺動により上下し、短時間内に運転停止を繰り返し、運転の障害となることがあります。とくに、水受容器に除湿水がたくさんたまったときご注意ください。
- 移動の際、床がカーペット・畳・木製等の場合、キャスターを利用すると、床を傷つける恐れがありますから“とって”で本体を持ち上げて移動させてください。

- 水受容器を空にして移動させてください。水があふれ床をぬらす恐れがあります。また水受容器をはずしたまま移動しないでください。冷却器表面についている水滴がおち床をぬらす恐れがあります。



節電するための上手な使い方

- 電気代を節約するため、次のような点に注意し、上手にお使いください。
- 直射日光や熱を出す器具から離し、空気吐出口と空気吸込口のすき間をじゅうぶんとってください。
- 窓、扉の開閉はできるだけ少なくしてください。外の空気が入りますと除湿効果が低下します。



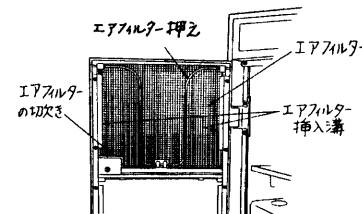
お手入れのしかた

- お手入れの際は必ずダイヤルを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

1 エアフィルターの清掃

- エアフィルターは室内のごみ、ほこりを除くものですから、ふだんは2週間に1度程度点検し次の要領で掃除をしてください。エアフィルターが汚れたままですと、風量が減少し除湿量が減ります。
- (1)前カバーを開け、エアフィルター押えを中央に寄せてはずし、エアフィルターを静かに取り出します。
 - (2)エアフィルターの汚れは水で洗い流すか、電気掃除機で落します。水洗いの場合には水を切り、日陰でよく乾かしてください。

- (3)エアフィルターがきれいになりましたら、エアフィルターの切欠き部をつまみの突き出た部分に合わせて、前カバーの裏側の溝に挿入しエアフィルター押えで押えてください。



- 水洗いの場合はもみ洗いは絶対にさけてください。
- エアフィルターを乾かすときは長時間直射日光にあてたり、40℃以上の温水で洗わないでください。縮むことがあります。また絶対に火であぶらないでください。燃えることがあり危険です。
- エアフィルターを入れずに運転しますと除湿機内にほこりやごみを吸い込み故障のもとになりますから必ず入れてください。

2

キャビネットの清掃

- ときどきはたきをかけるか乾いた柔らかい布で軽くふいてください。とくに汚れがひどい場合は柔らかい布にぬるま湯や中性洗剤をふくませてふいてください。ただし中性洗剤をお使いのときは必ず清水でふきとってください。

定期的に点検しましょう

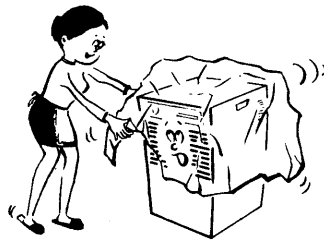
安心してご使用いただくために、半年～1年に一度定期的に次のような点検を行ってください。そのときもしご不審な点がありましたら、すぐにお買い求めになった販売店にご連絡ください。

- 電源プラグが専用のコンセントにしっかり入っていますか？
- 電源プラグに異常な発熱などはありませんか？
- 電源コードにき裂やすり傷がありませんか？

- 排水ホースによる連続排水をしている場合ホースは確実に露受けの排水孔に接続されていますか？またつぶれていませんか？
- エアフィルターが破れていませんか？

長期間お使いにならないときは

- (1)ダイヤルを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをまとめてください。
- (2)水受容器に残っている水を完全にすててください。
- (3)エアフィルターを掃除してください。
- (4)直射日光のあたらない風通しの良いところで半日ほど乾かしたあと保管してください。
- (5)保管場所はなるべく乾燥していて、直射日光のあたらないしかも風通しの良いところが最適です。ホコリよけの簡単なカバーをかぶせておくとう安心です。



- シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・熱湯・酸・たわしなどは塗装面やプラスチックをいためますので使わないでください。



- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

- 除湿機に水がかかると絶縁が悪くなったり、さびたりします。

- (1)直接水をかけて掃除をしないでください。
- (2)電気部品(ダイヤル・表示灯など)の周囲をふくときは布をかたく絞ってください。

アフターサービスと保証について

次の症状のときは、ただちに運転を停止して販売店へご連絡ください。

- ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 電源プラグやコードが異常に熱いとき

1 サービスを依頼されるときは



……と思ったら、次のことをお調べください。
(サービスマン以外の方はキャビネットをはずさないでください。)

状 況	状 況	次の点をお調べください
	ダイヤルをまわしても運転しないとき	(1) 停電ではありませんか？ (2) 電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか？ (3) お部屋のブレーカーやヒューズが切れていませんか？ (4) 水受容器にたまったままになっていませんか？ 水受容器に一定量以上にたまったままになってますとダイヤルをまわしても運転しないことがあります。
	除湿量が少なしき	(1) エアフィルターがごみなどで詰っていませんか？ (2) 室温が低く、湿度が下がっていませんか？ 除湿量は室温と湿度によって変わり、室温が低く、また湿度が低くなる程除湿量は少なくなります。
	ひん繁に始動停止を繰り返すとき	(1) 室温が40℃以上になっていませんか？ (2) 電圧が低下していませんか？
	音がうるさいとき	(1) 床がしっかりしていないかったり、除湿機ががたついたりしていませんか？
	これは故障ではありません	(1) 除湿機を運転すると部屋の中がしばらくの間カビくさくさなることがあります。これは壁などから取り出された水分の臭いが原因で除湿機のおいではありません。 (2) 冷却器の霜を自動的にとるため時計式の霜取り装置を使用しています。お部屋の温度が約18℃以下になるとこの霜取り装置が作動し約1時間半～3時間に1回、周期的にファンが停止するとともに除湿水が水受容器に滴下するようになります。これは冷却器につく霜を除霜し、水受容器に滴下させるためです。ファンの停止時間は5分～30分間です。なお、この時計式霜取り装置のため90分に1回カチッという音が聞こえることがあります。

		<p>(3)運転開始後、約10数分間ヒレ音のような圧縮機の運転音が聞こえることがありますが、これは運転当初冷凍サイクル中の冷却液の流れが安定しないためで、異常ではありません。</p> <p>(4)除湿機の運転中や運転を停止したとき、水の流れるような音のすることがありますが、これは冷凍機の中の液が流れる音ですから、故障ではありません。</p>
--	--	---

以上のことをお調べになり、それでもぐあいの悪いときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
販売店名は、裏表紙の「お客様メモ」欄に書いておくとう便利です。

お知らせいただきたいこと

1. 形名——RD-1602LD
2. 故障状態——できるだけ詳しく
3. 道順——付近の目印も

2 アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。

3 転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。



ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

4 補修用性能部品の保有期間について

当社は、この除湿機の補修用性能部品の製造打切後8年間保有しています。

5 保証について

1. この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げの日から1年間です。
(ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

仕様

形式	RD-1602LD	付属品
種類	B形（1℃以上で使用可能）	水受容器………1 エアフィルター………1
定格除湿能力	14.0/16.0ℓ/日	
定格電圧	100V	
定格周波数	50Hz・60Hz共用	
定格消費電力	365/410W	
外形寸法	幅355mm×奥行360mm×高さ710mm	
質量(重量)	25kg	

- 定格除湿能力・定格消費電力は、室温27℃・相対湿度60%を持続する室内で運転した場合の値です。
- /で示される数値は左が50Hz、右が60Hzの数値です。

別売品について

- 次の別売部品を用意しておりますので、日立の家電品販売店でお求めください。
- 連続排水用の排水ホース（サービス専用部品、長さ3m、カードNo.RD-2004026）